

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL千賀・西・野田・旅田・松本・松井

2. 山城/ルート 六甲 蓬莱峡 (ボッカ/読図) 蓬莱峡～岡本

3. 交通手段 各自/電車・バス・自家用車

4. 行動記録

<実施日 2014年 11月 8日>

8時 30分 現地集合、準備

9時 30分 アイゼン歩行トレ

12時 昼休憩

12時 30分 ロープワーク/支点構築、スタンディングアックスビレイ等

14時 30分 アイゼン歩行トレ

15時 終了・片づけ

15時 40分 ボッカ/読図 スタート

23時 20分 下山 岡本

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

・蓬莱峡/歩行トレ・ロープワーク 予定の通り (アイゼン歩行トレ中にメンバーの1人が左足に違和感(肉離れ?)を訴え途中から見学、その他のトレには参加)

・ボッカ/読図 宝塚の縦走路に合流するまでメンバーの読図がうまく出来ず時間を要した(CLはルート把握)。

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

・特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

・寒さの厳しい雪山での行動の遅れは身体に大きな影響をきたすので、装備の扱いや装着は手早くできるように事前しておく必要があることの確認。

・読図は当日の現場で地図を見るだけではなく、事前にルートの把握やポイント地点で確認をするなど地図登山をしておくことの必要性の確認。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・8月の大雨の影響などで、岩場の崩れ、浸食が進み、砂山の形に多少の変形あるが、トレーニングに大きな影響はなかった。

・今回が今シーズン初めての冬山装備でのトレーニングとなり、久しぶりの装備装着であったため、準備に時間を要したり、不備を発見したりするなどがあつた。雪山の現場でこのようなことがあつてはならないので、事前トレーニングの必要性を痛感した。

報告者氏名 松井

2014年 11月 10日